

牛の体調に注意！消毒を徹底しましょう！

中丹家畜衛生情報（No.30-46） 平成31年3月発行

春が近づいていますが、寒暖の変化が大きく牛に強いストレスがかかるため、牛呼吸器病症候群(BRDC)や牛コロナウイルス病などが流行しやすい時期となりました。

ウイルスの侵入を防ぐため、消毒を徹底しましょう！

・BRDCとは？

ウイルス(IBR・RS・PI3・BVD・Ad7など)やマイコプラズマ、細菌(マブミアヘリコバなど)などの複合感染により、肺炎症状が重篤化する呼吸器疾患です。



重篤化すると経済的損失が非常に大きいため予防対策が重要です。

・牛コロナウイルス病とは？

主に糞便中のウイルスをエサ等と一緒に、経口摂取して感染します。子牛の下痢の原因であるとともに成牛で水様性下痢を引き起こします。発熱のほか鼻汁、発咳など呼吸器症状を呈する場合があります。短期間で牛群に感染が拡大し経済的損失が生じます。

・予防対策～出入口でウイルスを遮断しましょう～

農場専用衣服に着替え、長靴を洗浄、消毒しましょう！
牛舎出入口には踏込消毒槽を設置、消毒液は頻回交換しましょう！
農場内への人や車両の進入を制限し、車両を消毒しましょう！
導入牛は長距離の移動や環境の変化などのストレスを受けています。到着後は隔離するとともに十分な健康観察をお願いします。

